



# なんた坂 こんな坂

9月1日祖父没後、当時の相続法(家督相続)で、祖父長男の父(二郎)が、殆ど全て引継いだ。(昭13年免許制度 酒販業も含め)でも、敗戦直後、配給システムも混乱、正規ルートでは酒も醤油等も僅かしか入荷せず、祖父の死もあり、西側の酒販店部分は、半休業状態だった。東側の店国民酒場は、番頭夫婦に任じていたが戦死、子供が無い嫁は実家に戻り、祖母が店主で動かした。病気で敗戦前に兵役免除された父は、当時、友人と陸軍に、物資納入会社をつくり、軍の依頼を請けたもの、お箸、衣料品迄を納める仕事をしてた。そのループで、ドラム管入りエチールアルコールや帆布(※下用生地)を購入し、店の土蔵に蓄えていた。

達が 野菜・肉・魚を闇で探し求め提供して下さり助かった。日本酒も戦後二、三年は、貴重品で、入荷量は極少量。直ぐ、売り切れになるので、長い行列が出来た。

敗戦直後は、『羽米』の配給も途切れる程の大混乱。酒類も極端な品不足。闇市では、アルコールを水で薄めて焼酎と売られた。アルコールは、エチール(食用)メチール(工業用)の2種類があり、飲めば、酒に酔った気分になるが、メチールは、死や失明の危険があり、焼酎を「爆弾」の名で売られ吞まれた。実際に死人もでた

戦時中酒卸は、半公的な 配給統制会社(に集約されたが、(昭23)枠が外れ、酒(乙)卸売免許が設定され我が家も含め府内で、三十店程が許可された。酒場小売を廃業(昭24)酒間屋 酒谷本店)になり、マツダオート三輪車一台。レビットスクーター(エンジンは押掛け)従業員4人。女性事務員1人で動き出した。父は、卸免許申請前、卸に申請すると相談したが、私は、学校で学んだ卸の将来性で危ぶみ反対したが聞き入れなかった。そして(昭24)卸免許が得られ、規則により酒小売りは廃業した。同年弟 宗男(が生まれた。酒卸業の業績は順調スタートした。

## 稲荷山 ぶどう散策記

越智重史



父は、理研酒の製法を書物で学び、大阪道修町の薬屋で、ダルトミン酸ソーダーや単舎利別シロップ等を買い入れ、自家で合成清酒をつくり、滋賀や伏見の酒蔵から闇仕入れた原酒に混ぜた酒を東側の飲み屋(戦時中は国民酒場だった)で売った。酒のつまみは人手困難時代。お客さん

先の京都市議会で無秩序なホテル建設ラッシュ、違法 民泊が大きな問題になった。京都のホテル開業は2016年13軒・1545室、2017年〜19年開業予定50軒以上。約7000室以上という。京都駅周辺は駅がホテルに囲まれて、このままでは京都が京都でなくなるという殺風景な状況を生み出そうとしている。『トラベル&レジャー』誌の評価も1位から6位に後退したという。さらに大変なのは、違法 民泊が数千規模となっている問題である。

## 明日からは臯月

石動敬子  
2017.5.25



息の根を止められるに等しい言論の不自由。歌舞音曲の自由な翼を切るような暗い戦時下への逆行は「死」に等しい。

には合点の行かぬ事が相次いだ。憲法を暮らしたに生かそう」の京都府に暮らしたことがあった身にとの相次ぐ政治には失望あるばかり。

地域の憲法 九条」の会に参加不可、ならせめてメッセージを求められ寄せた一文だ。

のあれこれも論功行賞欲しきかと思えてしまう。なんとという心貧しい取引だろうか。その点、三國志」など今もって感動的だ。お隣の国の義兄弟の関羽、張飛が支えた情愛の劉備の桃園の誓いや三顧の礼。パフォーマー諸葛孔明の最期の凄まじきなど。さすがという、

ああ、卯月。卯の花月。何と憂鬱な月だったか。

しかし、もう6月。バカンス帰国の娘ファミリーが来る。創立50年の合唱団同窓会の企画、第9回の東北演奏小旅行が来る。紫陽花と螢と青梅、さくらんぼ、美しい風が吹く。嘆いてばかりもいられない。(写真)HPから借用した

今年に入つて2.3.4月と二気に増えているとのこと。我が伏見稲荷地域でも、民泊反対 尊厚住民一同」という張り紙が目立つようになっている。ただ正確を期さなければならぬのは、真面目に民泊を経営されている方もいるということだ。

日常生活する場を離れて、余暇活動や生きがいとして、日常と異なることを見聞きし体験し楽しみ、日常に戻つてから生活を向上させるもの」であり、観光を受け入れる側(ホスト)の側)から見れば、地域の文化や経済を振興し、人々が地域で生きてゆかための基盤となるもの」という。この双方の違う目的が観光地という場所でも重なる場所が観光地である。双方がうまくかみ合つてこそ、おもてなしが生きてくるだろう。

問題なのは野放図で悪質な民泊である。これが増えているのだから始末に負えない。ある地域では、狭い路地を入ったところにある8軒のうち4軒が民泊として利用され、残り4軒は独居老人が住んでいる。

夜中にキヤリアック引く音が絶えず、間違えてインターホンを観光する側(ゲストの側)から見れば



4軒は独居老人が住んでいる。夜中にキヤリアック引く音が絶えず、間違えてインターホンを観光する側(ゲストの側)から見れば

# 京都&東山 ぶらりピカリ

73

## 七条通 ①

西南北の  
基盤目状

「七条通」があり、その通りの「頭文字」を入れた「丸竹夷」で始まる「わらべ唄」も有る。私の子共時代は、上「北丸太町」下「南丸太町」だったが、南部の発展に伴って今は、九条迄有る様だ。

これを覚えたら、京都中心部で迷うことはない。歌だけなら良いが、行政の施策も、上「北」から始まる事が多かった。改修改善工事等施作は、御所付近から始まり五条で終り、七条〜九条は置いておぼりだった。私は、根づ子に「北尊南卑」の思想が有るのではと思っていた。過去形にしたのは、最近

京都駅八条口が改良されたから。が、京都の東西の通りで、この通り程、バライテイに富んだ通りはないと思ってる。真東に、緑豊かな東山36峯の「阿弥陀が峰」。その頂上には「豊臣秀吉公」の墓所がある。墓所参拝は有料で、且「四百段近い、石の階段」上る覚悟がある。過って甲子園常連だった「平安高校野球部」は、ここで訓練をしていた。最近、ここでの「特訓」に姿は消えたが、甲子園



でも見なく  
なった。  
83歳の私も、  
毎年一、二  
度登って来

た。今年は、後15段でバテて一休みした。

マタ、その手前。七条通りと東大路の「三叉路」の知積院正山門から光景も素晴らしい。特に「西山」に日が沈む少し前、大都会の三叉路で、此処に勝る風景はないと思う。



ホテルになってるが「保存」されていて、更に三三三間堂と続く。我店は、この阪の一番低いところにある。人様から「金が溜まる」と言われるが、塵とホコリは溜まるが「お金」は、とんと貯まらない。

博物館の西側の「大和大路」を少し北へ行くと秀吉公を祀る「豊国神社」が有り、隣地の「方広寺」には、大阪城落城の口述になった「国宝の「国家安康」と刻まれた方向寺大佛殿「大釣鐘」が有る。この釣鐘も明治初年まで、寺内の空き地に、転がる様に横向き



に有った写真が有り、町名も棟梁町、鐘鑄町がある。九条通りの東寺さんの「大山大門」も明治中期までこの通り西之門町に有った。

も見なく  
なった。  
83歳の私も、  
毎年一、二  
度登って来

# 市電が走った 京都を巡る

76

福田静二

## 飛鳥井町

東大路通  
を南下す  
る市電は

叡山電鉄と交差する叡電前の停留場を発車します。その交差南東部に四階建てのビルがあります。市電と叡電は斜めに交差するため、ビルの敷地も二角形をしたエニクなビルです。この二階は市電が走っていた時代から喫茶店があり、市電 叡電のワオチンゲ場所として有名でした。鉄道系の出版社で永く編集長を勤められたNさんもその思い出が自身のブログに綴られていました。

京都市電で思ひ浮かぶのは夏、まとわりつくような暑さに、撮影を中断して喫茶店に入っていた記憶があります。そ



公設市場のある  
飛鳥井町に到着した市電

# 東大路通をゆったりと走る



んな逃避の中で見つけたのが、叡電前にあった喫茶店。その名も交差点でした。喫茶店は半面交差を見下ろす二階にあり、窓際の席が、一番お気に入りでした。市電とポール電車の平面交差という絶好の被写体が目の前にあったわけです。私が最後に京都市電を訪れたのは廃止直前のことでした。この時も交差点に寄り、窓際の席でしばし市電と叡電との出会いを楽しみましたと記されています。

先づ付近を訪れてみると、ビルの外壁は塗り直され、一階は別の名前のカフェが入居していました。叡電向きの方々張りの席はまだ健在のようです。周囲の光景は大きく変わりましたが、あの懐かしい空間が残っているのは何とも嬉しい限りでした。

市電沿には、そのあたりに小さな商店が続きます。その中には、何度か訪れた古書店も健在です。市公号系統が御隣連に曲がる早稲町の交差点を過ぎて、まもなく到着するのが「飛鳥井町」の停留場です。飛鳥井町は、左京区にある広域地名の「甲」に続く町名のひとつです。今出川線にあった関田町の停留場と同命名例です。飛鳥井という地名は、足利時代の公家、飛鳥井家にかかりがあるようです。蹴鞠の宗家としても有名で、京都市上京区の白峰神宮を名付町名も飛鳥井町です。

停留場の真ん前に、ひととき大きな文字で「甲公設市場」と書かれた建物があります。公設市場とは、京都市などから所有地を借り受けて、日用品を公

正な価格で販売する公設マーケットのことです。スーパーマーケットなどがまだ発達していなかった時代、京都市内に多くの公設市場がありました。業態の変化で、現在では京都市内では見られませんが、現在でも用地は京都市の飛鳥井ワوکセターとして土地は存続しています。

飛鳥井ワوکセターは、働くことを希望する障害のある方の就労を支援する事業所で、将来自ら職業に就きたいか、近隣スーパーマーケットなどの公設との連携も求め、作業を通して体験するようになっています。地域社会に溶け込んだ就労の場となっているこのセンターは、地域の方々とともに働き、ともに生活を築く拠点となっています。

# 何んた坂 こんな坂 ⑥

敗戦後の  
暫くは日  
本中、腑  
抜けの状態  
「朝鮮人団体」が絡み、七条警察署襲撃事件」が起こった。七条警察署付近や京都駅近辺の交差点は、其処を護るヤクザ風の人達が、日本刀を持ち焚火を囲んでいた。一時は、市電も止まり、私が通学した「立命館中学」が休校になるほどの大事件だった。数日後、米占領軍MP(軍警察)出動と「ある組の組長？」の采配で事件は治まった。

戦時中の教科書は使用禁止。ガリ版刷りや不都合部分を、黒く塗り隠し使われた。先生も、**どんな基準でか**教職追放で、突然に学校へ出て来られない先生も有り、授業の飛んだ日もあった。  
物資配給の仕組みも壊れ、衣・食品の物資不足が起り、通常の分配仕組みの裏側で、「闇取引」が流行した。その「闇」の、集団市場が出来た。七条通高倉 現出光石 油スタッド南側から、京都駅付近に。

そこでは、お金さえ出せば、生活必需品は、何でも買えた。偶に、物価統制法違反で警察が取締りするが直ぐ元。その付近に、店の元丁稚さんで、大好きなだった「マーチ天八木政夫さん夫婦」が住み、闇市へ連れてもらった。経済復興が進み闇市は消えたが、今や著名店になったラーメン屋店は、その当時既に有った様な記憶が有る。



復興が進み闇市は消えたが、今や著名店になったラーメン屋店は、その当時既に有った様な記憶が有る。

その頃、闇市を仕切る「組」と「朝鮮人団体」が絡み、七条警察署が、占拠される「七条警察署襲撃事件」が起こった。七条警察署付近や京都駅近辺の交差点は、其処を護るヤクザ風の人達が、日本刀を持ち焚火を囲んでいた。一時は、市電も止まり、私が通学した「立命館中学」が休校になるほどの大事件だった。数日後、米占領軍MP(軍警察)出動と「ある組の組長？」の采配で事件は治まった。私の記憶では、当時、闇米を運んでいた朝鮮人の逮捕が事件の発端だった。又、五味康介氏の小説にも、「組の賭場」の事が書かれていた。インフレが進み、入学時、15円だった授業料は6年後の卒業時は、50倍も上がり750円になった。(昭22年迄) 我店は、酒屋と国民酒場だった。戦後大動の詰

# スタート ポイント 瀬瀬史子

東山七条出身  
のアーティスト  
久テネ、フラー  
パッドが、デビュ  
をさせていただ  
たのは2008年5月。皆様の温かいご声援をいただき、来年は十周年を迎えます。

十年一昔とはよく言いますが、フラーパッドもこの十年で大きく成長を遂げました。私が一人の「ネジャ」をさせていたたくようになった頃が、はるか昔のことのように思えます。当時の写真や映像を見ると、懐かしさを感じます。  
フラーパッドは今まで、歌のないポップスをコンセプトに、インストウルメンタルという歌詞のない音楽を創作してきました。言葉という制約がない分、聴き手の自由な解釈で楽しんでいただく、そんな音楽を送り届けてきたこの十年。言葉に頼らない音楽は、世界を越えて多くの人の耳に届けることができましたが、その反面で、人々の記憶に深い印象を残すことが難しくもありました。十周年を前に、フラーパッドは次の十年を見つめて、新たな挑戦に臨むことにしました。今まで禁断と

は絶えず学習という刺激を欲する。脳内の電気回路シナプスが脳内を必死に駆け抜けたくて仕方がないのだ。中学の頃、同級生が脳について調べ、レポートにまとめて発表した。人間が肉体を必死に動かしてエネルギーを消費するよりも、頭を使った方がより効率的にエネルギーを消費できるというのである。ただ、ここで注釈を入れなければならぬ。人間の体は使わなければ若くても介護が必要になるし、動かすことも困難になる。機会に油を刺すように適度に動かさなければ、節々の可動範囲が狭くなる。ストレッチをしてから運動をしようと思つたら、ストレッチ中に足、腰、腕がふる。だからやはり運動でエネルギーを消費することも重要なのである。よい睡眠をとるには、寝る時間と睡眠時間の関係性と言われているが、その前段階が問題である。なかなか寝付けないのだ。  
常日頃机にへばり付いて動かない私もこの現象に陥る。そうなる時はどうするか？最近分かったことなのだが、消しゴムハンコを一日必死に彫つているとかなり疲れて寝つきがいい。ただ、パソコンを一日やっていると目だけ疲れて寝つきが悪い。これは脳に与える電波も影響しているのだろうと思う。よって、頭を使うにしても電気物を使わない方がいいことも分かる。古い考えと言われてしまうかもしれないが、人間がより体調と生活を整えるため

# 編集後記

今までは前々日に仕上がるのですが、6月号は31日昼にヤット仕上がりまし、5月はその調子が悪かったのですが、6月号は私の年齢83才と言う能力の低下の急です。

▽仕上り、プリント後見直し読み、恥ずかしいような初歩的ミミが有りました。もう限界と思ひました。  
▽が、友の会の約束があり、来年2008年3月号まで、余程のことが起らない限り続けます。  
▽先月免許更新で、認知症テストを受けました。セーフだったので、それまでは大丈夫で続けられると思ひつてます。努力もしてマッパ！

▽夜9時就寝、朝4時半起床。体操45分、腕立て60回(心)入浴後、お粥を食べ、6時過ぎ、ママミに出勤業務に入ります。  
▽適当に少々サボリながらですが、毎日、続けていると、癖になると何の負担も感じませんし、風邪も挽きません。  
▽継続は力なりは諺でなく本質だと思ひます。が、偉そうなどとは言えません、年中無休24時間営業のママミの縛りで、▽そのママミとサークルKとが結婚、来生夫婦。親は子を創れるが、子が親を創れない。それが問題だと「ハレット」ならぬ、ヨシちゃん、今悩んでいます。

# 頭 月三天

さつき間いた重要なことを忘れてしまふ。書き留めておこうと思つた時に忘れたのだ。そんな話をよく聞く。ただ、これは年齢を重ねたから、というわけでも無さそうで、若者の間でもあるあるになりつつある。

それは、自分で記憶しなくてもよくなつたからだ。この代表例として、電話番号の話が出る。中学までは携帯電話を持っていないかつた私は、小学生の時までは電話番号を覚えていた。しかし、やはり携帯電話を持つてからは、一切記憶しなくなつた。ただ、人間の脳みそは絶えず刺激を求めていて、脳以外の部位が面倒くさがつても、脳